

2013 印刷産業展 会場案内 特集

印刷タイムス

5月10日（金曜日） 16日開幕のJP2013に期待する大阪印刷業界

株式会社 印刷之世界社
〒530 0054
大阪市北区南森町1-1-26 南森町フジビル4階
電話 06 6311 0281 FAX 06 6311-0288
東京支局 〒101-0052
東京都千代田区神田小川町1-8-6
電話 03 5256 0591 FAX 03 5256-0595
年間購読料 12,000円（税込み）
郵便振替 00940-0-318796

北東工業とメーカー5社の協力で

LED-UVと水無し併用で新しい形求める



東條秀樹氏

桜井・菊全判4色機ベースに 「ものづくりへのこだわり」実現

北東工業（東條秀樹社長）は、1バルグラフィックシステムズ、LED-UVと水無し印刷を併用 光文堂、都インキなどの関連技術して、薄紙を含む印刷物の工業生産を保有する5社の協力を得て完成産化を前提にした「ものづくりへ させ、5月16日から開幕するJPのこだわり」を実現させる印刷システムを、桜井グラフィックシステムズのプテムズ、東レ、富士フィルムグロ で公開運転する。

JP展で桜井GSが展示公開

桜井グラフィックシステムズ（桜井隆太社長）が「JP2013情報・印刷産業展」に出展するのは、水無し印刷に対応した菊全判4色機「OLIVER 496SD」。

オリバーシリーズの集大成とも言える「OLIVER 496SD」は、最先端自動化設備の完全搭載によるワンマンオペレーションが実現できるもの。省スペース設計を実現するとともに、コストパフォーマンスに優れた菊全機となっている。

同機の納入先となる北東工業では、LED-UV機の導入に始まり、主力の8色機2台の水無し印刷化、Ja

PanColorの認証取得活動とダイナミックに変化を遂げている。今年1月下旬に導入したLED-UV乾燥装置付き菊半裁4色機「OLIVER 466SD」では、乾燥適正に優れた特性を生かして作業効率アップを実現。同社にとってLED-UV化することは全体の流れの一部であったが、瞬間硬化によって作業効率が向上すると同時に、プロッキンクなどによる事故を未然に防ぐことができるようになった。

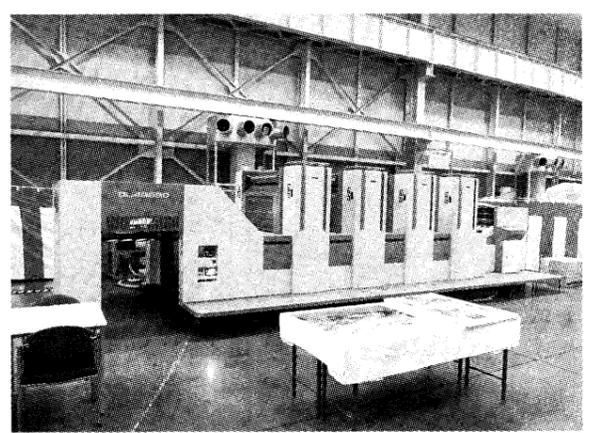
同時に、LED-UV機導入は難易度の高い薄紙に対しても速乾が叶うことで、後工程との連携で即日納品

今回の菊全判4色機「OLIVER 496SD」では、これまで使用してきた菊全機の一部分が老朽化によって修繕費がかかることから、印刷機の置き換えとして導入することを決めた。

「安心の生産工場」として現状に留まらず、常に最新設備を導入し、技術の習得に努めている同社は、新技術への挑戦によってさらなる作業効率アップと事故を未然に防ぐ戦略を鮮明に打ち出し、顧客満足度を高める体制を構築することとなる。

同時に、桜井グラフィックシステムズから5年間で3台の機械を導入している同社では、印刷機のオペレーションが統一することで、どの機械でも誰もが使える、同じ品質ができるようになる。

今回の「OLIVER 496SD」をきっかけに、製造業のフライトとして同社が展開している「ものづくりへのこだわり」についても内外に向けて情報



水無し印刷に対応する「OLIVER 496SD」

発信していく。その一環として、5月16日から開催される「JP2013情報・印刷産業展」に、桜井グラフィックシステムズの水無し対応印刷機、東レの水無し製版技術・富士フィルムグロ1バルグラフィックシステムズのJapanColor、光文堂、都インキなどの支援協力を得て誕生した新技術を発表する。

東條社長は「印刷業の新しい形へと当社が自ら大きく変化することで、当社を育ててくれた大阪の街と印刷業界に恩返ししたいと考えています。当社を応援していただいている仕入れ先・協力会社にも潤ってほしいですし、お客様にとって、いつも頼りになる安心の生産工場であること」を訴えていきたいです」と語っている。

なお、JP会場では、北東工業が展開するWeb営業所「PrintBiz（プリントビジネス）」に関連するパンフレットなども配布されることとなっている。